

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人材

長部 日出雄

(1934～)
弘前市

1973年「津軽世去れ節」「津軽じよんから節」で第69回直木賞を受賞。東京での記者、映画評論家を経て17年ぶりに帰郷し、2年4ヶ月かけて津軽を歩きまわり綿密な取材を重ねて執筆した作品。

今 官一

(1909～1983)
弘前市

県人初の直木賞作家。1956年「壁の花」で第35回直木賞を受賞。1960年には同人雑誌「現代人」を創刊。1980年に帰郷し郷土の作家を育成した。

太 幸 治

(1909～1948)
五所川原市金木

近代日本文学を代表する作家。波乱に満ちた生き方から暗いイメージで捉えがちだが、「人を喜ばせるのが好きな作家」太幸の作品には繊細な感情と豊かな知性、ユーモアが漂っており、今でも人気不衰。『走れメロス』『津軽』『斜陽』『人間失格』『お伽草子』など多くの作品が国内外で読まれている。

三 浦 哲 郎

(1931～2010)
八戸市

県人唯一の芥川賞作家。1961年「忍ぶ川」で第44回芥川賞。長編・短編・自伝的小説・歴史小説とたゆみなく発表し、数多くの文学賞を受賞。

映画・舞台

人間の身体をもって表現する映画や舞台の世界でも、青森県が生んだ才能は、計り知れない影響をもたらしました。

江 口 乙 矢

(1911～2004)
野辺地町

江口隆哉の弟。隆哉の門下生となり、作品に日本の民話などを取り入れ、現代舞踊の土台を広げ、定着させた。

江 口 隆 哉

(1900～1977)
野辺地町

ドイツ留学を経て、日本にモダンダンスの妙味をもたらし、現代舞踊の礎を築く。元現代舞踏協会会長。

小 国 英 雄

(1904～1996)
八戸市

我が国初のトーキー(音声付き)映画の脚本を書く。巨匠黒澤明のシナリオライターとして、数々の傑作に携わる。300本を超える映画シナリオを世に送り出した。

川 島 雄 三

(1918～1963)
むつ市

日本喜劇映画の金字塔と賞される「幕末太陽傳」を監督。45年の生涯で51本の作品を作る。斬新、洗練、破天荒を極めた作品は、没後40年以上経た現在でも、多くの信奉者を惹きつけてやまない。

菊 谷 栄 栄

(1902～1937)
青森市

「日本の喜劇王エノケン」の片腕として、お笑いの世界を陰で支えた伝説的脚本家。斬新な作風で、戦死するまでのわずか6年間で100本近い作品を生み出した。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

てら やま しゅう し
寺山 修司
(1935~1983)
弘前市

歌人・詩人・劇作家・映画監督など、驚くほど多くの分野で活躍。演劇実験室「天井桟敷」を旗揚げし、海外でも公演。前衛的な活動は、国内外で高く評価される。

まつ やま
松山 ケンイチ
(1985~)
むつ市

2001年モデルデビュー。2003年に映画デビューした後、「デスノート」への出演で話題を呼び、「カムイ外伝」など次々と主演を果たす。役柄によって演技、外見を自在に変化させるため、「カメレオン俳優」とも評される。「ウルトラミラクルラブストーリー」では毎日映画コンクール「主演男優賞」受賞。2012年はNHK大河ドラマ「平清盛」主演。

よこ はま さと こ
横浜 聡子
(1978~)
青森市

映画監督。長編第一作目「ジャーマン+雨」で2007年度日本映画監督協会新人賞を受賞。2009年には、松山ケンイチ(むつ市)を主演とするオール青森ロケ、津軽弁の「ウルトラミラクルラブストーリー」が公開、4大映画祭の一つといわれるトロント映画祭にも出品された。

美術

現在も版画制作が盛んな青森県。版画はもちろん、様々な美術で、世界に通じる個性豊かな芸術家を生み出しています。

あべ ごう せい
阿部 合成
(1910~1972)
青森市浪岡

波乱に富む生涯から「修羅の画家」と呼ばれる。戦前の作品が反戦絵画と迫害され、出征しシベリア抑留など、苦難に満ちた戦争時期の後、メキシコで得た題材や技法を生かし晩年まで独特の作品を制作。

く だう こう じん
工藤 甲人
(1915~2011)
弘前市

戦後を代表する日本画家。西洋の幻想的美術に影響を受け、津軽の風土に根ざした独自の日本画の世界を創造。盛んな創作意欲で、毎年創画展へ出品を続けた。

こん じゅん ぞう
今 純三
(1893~1944)
弘前市

日本近代銅版画の先駆者。県人初の文展洋画入選。東京で新進の画家として活躍していたが、関東大震災を機に青森へ戻り、銅版画や石版画の技法研究に力を注ぎ、数多くの版画を制作。

せきの の じゅんいち ろう
関野 準一郎
(1914~1988)
青森市

青森で今純三から銅版画を学ぶ。戦後の物不足の中、東京で銅版画の研究會を主催。のちに国際的に活躍する若者たちが集まった。材料は自前調達、道具を工夫し版を作り、プレス機まで自作。リトグラフなど様々な技法に挑んだ。

たか やま う いち
鷹山 宇一
(1908~1999)
七戸町

日本の希有な幻想画家。棟方志功らの青光画社に参加し、日本美術学校在学中、二科展に初入選。二科会の重鎮としても活躍。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人材

なら よし とも
奈良 美智
(1959~)
弘前市

日本のアートシーンのトップランナーとして国際的にも注目を集める現代美術作家。2006年夏にオープンした県立美術館の建築と一体化した人気の「あおり犬」は、高さ8.5mの像で、彼の最も大きな作品。

なり た とおる
成田 亨
(1929~2002)
神戸市生まれ
青森市で育つ

彫刻家、特撮美術監督。「ウルトラマン」シリーズのヒーロー・怪獣・宇宙人・メカをデザインし、日本の戦後文化に大きな影響を与えた。彫刻家の感性・資質が反映されたデザインは、放映後40年以上経つ現在も輝きを放つ。

おん かた し こ
榎方 志功
(1903~1975)
青森市

「世界のムナカタ」と呼ばれる「板画家」。国際美術展で最高賞受賞。県人初の文化勲章受章者。ゴッホに憧れ、油絵から板画の道へ。板による表現であると「板画」と称した。板画のほか、倭画、油絵、書など、縦横無尽に彫刻刀や筆をふるい他に類を見ない独特の世界を創り上げた。

音楽

時代を超えて伝えられていく音楽。青森県は、そうそうたる音楽家を輩出し、そして今も送り出し続けています。

あわ や こ
淡谷のり子
(1907~1999)
青森市

10年に1人のソプラノと絶賛され、東洋音楽学校（現東京音楽大学）を首席で卒業。様々なジャンルに取り組み、日本のシャンソン界の先駆者となる。代表曲から「ブルースの女王」と呼ばれた。

たか はし ちく ざん
高橋 竹山
(1910~1998)
平内町

津軽三味線を芸術の域にまで高めた名人。津軽三味線独奏を初めてレコードに収録。東京で定期演奏会を行い、竹山ブームを巻き起こす。海外でも公演を行い、津軽三味線を世界に知らしめた。

はら のぶ こ
原 信子
(1893~1979)
八戸市

日本オペラ黎明期のソプラノ第一人者。国内で活躍した後、アメリカ、カナダ各地を巡演し、イタリア・ミラノの名門スカラ座の専属歌手に。「原信子歌劇研究所」を設立し、後進を育てた。

わた なべ うら と
渡辺 浦人
(1909~1994)
東京生まれ
青森市で育つ

日本を代表する交響組曲「野人」を作曲。日本音楽コンクールで主席入選。800曲の校歌、1,500曲の童謡など、2,000を超える作品を送り出した。元日本民族音楽協会会長。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

スポーツ

青森県は、我が国を代表するスポーツ選手を数多く輩出しています。ここでは、オリンピックのメダリストを紹介します。

あか いし こうせい
赤石 光生
(1965～)
弘前市

レスリング選手。ロサンゼルスオリンピックレスリングの62キロ級で銀メダル、バルセロナオリンピック68キロ級で銅メダルを獲得するなど、オリンピック3大会連続上位入賞を果たした。1992年、青森県民名誉賞を受賞した。

いづみ ひろし
泉 浩
(1982～)
大間町

柔道選手。アテネオリンピックの柔道競技90キロ級において、銀メダルを獲得した。2004年、青森県民栄誉賞を受賞した。

いちょう かおり
伊調 馨
(1984～)
八戸市

レスリング選手。アテネ、北京及びロンドンオリンピックのレスリング競技女子63キロ級において、3大会連続で金メダルを獲得した。2004年秋、学術、芸術、スポーツ分野の功労者に授与される紫綬褒章を受章。2008年及び2012年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

いちょう ちほる
伊調 千春
(1981～)
八戸市

レスリング選手。アテネオリンピック及び北京オリンピックのレスリング競技女子48キロ級において、2大会連続で銀メダルを獲得した。2008年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

おぼらひ とみ
小原日登美
(1981～)
八戸市

レスリング選手。ロンドンオリンピックレスリング競技女子48キロ級において金メダルを獲得した。2012年、青森県民栄誉賞を受賞した。

さいとう はる か
齋藤 春香
(1970～)
弘前市

ソフトボール選手。日本チームの中心打者として活躍し、シドニーオリンピックで銀メダル、アテネオリンピックで銅メダルを獲得。北京オリンピックでは日本代表の監督を務め、金メダルを獲得した。2000年及び2004年に、青森県民栄誉賞を受賞した。

さいとう ひとし
齋藤 仁
(1961～2015)
青森市

柔道選手。ロサンゼルスオリンピック、ソウルオリンピックの柔道競技95キロ超級において、2大会連続で金メダルを獲得した。1988年に青森県民栄誉大賞を受賞した。

さかもと つとむ
坂本 勉
(1962～)
南部町福地

自転車競技選手。ロサンゼルスオリンピックの自転車競技スプリントにおいて銅メダルを獲得した。1984年、青森県民栄誉賞を受賞した。

ふるかわ たか はる
古川 高晴
(1984～)
青森市

アーチェリー選手。ロンドンオリンピックアーチェリー競技男子個人総合で銀メダルを獲得した。2012年、青森県民栄誉賞を受賞した。

資料：青森20世紀の群像（東奥日報社）、青森県近代文学館HP、県立美術館HP、県立郷土館HP、青森県HPほか

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

青森市

日本一の上路式アーチ橋!
「城ヶ倉大橋」



城ヶ倉大橋は、全長360m・アーチ支間長255mと日本一の長さを誇る上路式アーチ橋! 谷底からの高さは122mにもおよび、四季をとおして城ヶ倉渓谷の美しい自然を楽しめる大人気の絶景スポット!!



日本一!
カシス収穫量

青森市で昭和52年から栽培されている「あおもりカシス」は、原種が持つカシス本来の爽やかな酸味と芳香がある上に、アントシアニンなどの豊富な栄養素が自慢! 収穫量は約10tで、スイーツやジュース、お酒など次々に商品化されてきている注目のフルーツです!

弘前市

日本最古!
弘前公園のソメイヨシノ



弘前公園(弘前城)の二の丸東内門内のソメイヨシノは明治15年(1882年)に植えられたもので、ソメイヨシノでは日本最長寿の古木である。130年以上たった現在でも、衰えを感じさせることなく立派な花を咲かせている。

りんごの街のアップルパイ



市内には県産りんごを使ったアップルパイを焼いている洋菓子屋、パン屋、和菓子屋がなんと50軒もあり、アップルパイガイドマップも作成され、市民の間でも美味しいと人気も上々! また、毎年イベントも多数行われ、現在は巨大アップルパイでのギネス認定を目指している。

八戸市

日本一標高が低い場所!
「八戸キャニオン」



八戸キャニオンと呼ばれる八戸鉱山は、全国で唯一海面下を採掘する露天掘りの石灰石鉱山。すり鉢状に掘り進められた最深部は、日本一標高が低く、その深さは海拔マイナス170m! 現在も採掘は続いており、今後もまだまだ深くなる!

県内唯一!
悠久の時を感じる「国宝」



昭和28年(1953年)11月に指定を受けた「フカイトシノミ赤糸威鐘・兜、大袖付」シロネ「シロネ白糸威褌取鐘・兜、大袖付」(ともに櫛引八幡宮所蔵)、平成21年(2009年)7月に指定を受けた「合掌土偶」(風張1遺跡出土、是川縄文館所蔵)。青森県内にある国宝3点すべてが八戸にある!

黒石市

日本一のジャンボこけしと木地だるま! 雪だるま!



平成22年(2010年)10月に完成した「津軽こけし館」のジャンボこけしは、樹齢300年以上のカツラを使用し、高さ4.2195mで日本一! 木地だるまも高さ2m・重さ755kgで日本一! また、高さ31.425mの巨大雪だるまは日本新記録(H14年)!

オンリーワン!
黒石 つゆやきそば



太い平麺が特徴の「黒石やきそば」は、市内約70店それぞれに個性的。「つゆ」をかけた全国でも珍しい「つゆやきそば」は、昭和30年代後半に生まれた。平成23年(2011年)の「全国やきそばサミットin黒石」は大盛況!!「第5回B-1グランプリ」では2年連続で第7位に入賞、さらに上位を目指す!

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

五所川原市

高さ日本一!
立佞武多



平成10年(1998年)に約80年ぶりに復活した立佞武多。平成26年の新作「国性爺合戦 和藤内」は、高さ23m、重さ19tという巨大さ! その高さは、7階建てビルに匹敵し、青森のねぶた(高さ約5m)の約4倍! 巨大な山車が天を焦がし街を練り歩く姿は圧倒的!

建物が無い!?
太宰ミュージアム



2009年に生誕百年を迎えた、旧金木町が生んだ文豪、太宰治。2010年には、多彩な奥津軽を体験できる「太宰ミュージアム」がグランドオープン。斜陽館、芦野公園、地吹雪、津軽料理…「太宰」を感じられる空間が、まるごとミュージアム!

十和田市

神秘的!
十和田湖と
日本一のブナ



藍色が印象的な十和田湖は、面積61.02km²、最深部327mの日本で3番目に深い湖! その高台に「森の神」とよばれ、幹回り6.01mで単木として日本一のブナが鎮座。さらに湖から流れ出た水が奥入瀬溪流となり、千変万化の流れと森の緑が美しい景観を作り出し、訪れた人に感動と癒しの時間をプレゼント。

生産量日本一! ニンニク
注目度
ナンバーワン!
十和田バラ焼き



雪のように白く、栄養たっぷりで粒ぞろい。高品質のニンニクは生産量日本一! 牛バラ肉と玉ねぎがニンニクの甘辛いタレと絡み、絶妙な味が好評のバラ焼き。市内には、バラ焼きを食べられるお店が80店以上も! 2014年10月に開催された「第9回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 郡山」にて、悲願のゴールドグランプリを受賞!

三沢市

人類初の太平洋
無着陸横断飛行の
発進地!



昭和6年(1931年)に、住民の支援を受けて三沢の海岸を飛び立ったミスピードル号は、41時間余りの飛行ののち米本土に初到達した。県立三沢航空科学館には、ミスピードル号の精密な復元機をはじめ十和田湖底から引き揚げた旧陸軍機なども展示。



ラムサール
条約登録湿地
「仏沼」

仏沼は、絶滅が危惧される野鳥オオセッカの世界最大の繁殖地。その他にも希少な野生生物が生息し、多くの渡り鳥の中継地でもあることから、平成17年(2005年)に、重要な湿地の保全を目的とするラムサール条約登録湿地とされた。

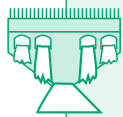
むつ市

日本三大霊場
恐山!



慈覚大師円仁が862年に開山。夢のお告げに従って諸国を回り、苦難の末にたどり着いたと伝えられる。白砂の極楽浜、硫黄臭が立ち込める荒々しい岩間、血の池地獄など異空間が広がり、全国から訪れる人を「あの世」の世界に導いてくれる。

東北最古!
旧大湊水源地
水道施設



旧大湊水源地水道施設は、明治43年(1910年)に竣工した東北で最初の近代水道施設。特にアーチ式ダムの子石組みは美しく、現在は「大湊水源地公園」として市民に親しまれている。平成21年(2009年)12月、国の重要文化財に指定された。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

つがる市

世界最大級の埋没林!



出来島海岸の1kmに渡る約2万8千年前の埋没林は、数千本のエゾマツやアカエゾマツなどが幅約30cmの泥炭層に1~2m間隔で埋まり世界最大級! 氷河期に洪水など急激な環境変化で針葉樹林が水没し根が腐らず残ったもの。

日本最古のりんごの樹



日本最古のりんごの樹は、明治11年(1878年)に植えられた「紅紋」2本と「祝」1本で、樹齢136年! 幹周り3m、樹高7.4mの巨木で、長く張り出した枝は何本ものつかえ棒で支えられ、今も約40箱(6,000個)もの実をつける!

平川市

世界一の扇ねぶた!



津軽が誇るねぶた祭。その「ねぶた」は、なんと高さ11m(横幅9m、奥行4m)で、津軽一! 津軽一なら世界一!! さらに、墨彩画調のねぶたもココだけ。平川市ねぶた展示館で会える。毎年8月2日、3日に開催される「平川ねぶたまつり」の合同運行にも出陣。

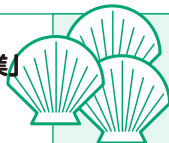
弘南鉄道のラッセル車「キ104」



ラッセル車「キ104」は昭和4年に誕生したもので、現在稼働しているラッセル車では日本で最古。その重厚なマスクと豪快な走りは全国の鉄道ファンから注目されている。

平内町

「ほたて養殖漁業」発祥の地!



ほたて養殖漁業発祥の地である平内町の養殖ほたての水揚げは、22,573t、32億7千4百万円(H25)で、ほたて生産量全国第2位を誇る青森県(48,334t)の46.7%を占め、県内第1位!

天然記念物「北限の椿」!



夏泊半島の椿山は、「ツバキ自生北限地帯」で国の天然記念物。椿神社の境内一帯(約17ha)が1万数千本のヤブツバキに覆われ、4月下旬~6月上旬、紅色の花を咲かせる! 裾野に広がる椿山海岸は「日本の渚・百選」に選定!

今別町

世界最長の海底トンネル「青函トンネル」入口!



青函トンネルは長さ53.85kmで、世界一長い海底トンネル。そのトンネル入口が今別町にある! 日本の最新技術を駆使し、その技術が英仏海峡トンネルなどにも活用された。

本州で唯一! JR北海道の駅

津軽今別駅

津軽今別駅はJR北海道の唯一の本州地上駅! JR東日本の津軽二股駅と隣接し、道の駅「アスクル」も隣、3つの駅が隣あわせで全国でも珍しい! 北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」も設置予定で「しあわせ(4合わせ)駅」!

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの

ナンバーワン、オンリーワン

蓬田村

東北最大!
玉松海岸
大型離岸堤



玉松海水浴場沖に自然の島をイメージしてつくられた大型離岸堤(全長300m)は東北一の大きさ!美しい海岸を浸食から守っている。

世界最北端に
生育!
海草「ウミヒルモ」



ウミヒルモは小判型の緑の葉をもつ海草で、主に熱帯～亜熱帯に生育。世界の北限は佐渡島の南部沿岸とされてきた。平成19年(2007年)に県増養殖研究所の調査で、蓬田村北部沖合1.2km～1.6kmの海底で発見!緯度で3度、距離で300km以上も北へ世界記録を更新!

外ヶ浜町

日本一短い鉄道と
日本唯一の
階段国道!



龍飛崎、「青函トンネル記念館」から体験坑道へつながる「青函トンネル龍飛斜坑線」(778m)は日本一短い鉄道で、わずか8分で海面下140mへ到着!また、近くにある「国道339号線」は日本唯一の階段国道(388.2m、362段)!歩行者専用だが道路標識あり。

世界初!
「超短波多重通信
回線開通の地」



平館にある巨大コンクリート塔(高さ89m)は、「石崎無線中継所」という本州と北海道の電話回線を無線でつないだ塔。平成13年(2001年)に役割を終えたが、ここは、世界に先駆け昭和12年(1937年)からこの技術に取組み3年後に実用化したゆかりの地!

鱈ヶ沢町

名物!
鱈ヶ沢ヒラメの
ツケ丼



ほぼ1年を通じて水揚げされる鱈ヶ沢産ヒラメは、白神山地の清流が流れ込む日本海が育んだ逸品。その鱈ヶ沢産の極上ヒラメを贅沢にツケにした、たっぷりご飯にのせた「ヒラメのツケ丼」が名物!お店ごとに、工夫を凝らしたオリジナルの漬けダレで、自慢の丼を味わうことができる。

津軽地方で唯一の
伝統行事!



白八幡宮大祭は、京都の時代まつりと祇園まつりにとてもよく似ていることから、「津軽の京まつり」と称され、300年以上の歴史がある古式ゆかしい伝統行事。平成25年8月には、白八幡宮大祭の祭り行事全体(神輿渡御行列、山車など)が県無形民俗文化財に指定。祭り行事全体での文化財指定は、白八幡宮大祭が初!

深浦町

日本最大!
北金ヶ沢の
イチヨウ



目通り幹周22m、樹高31m、樹齢約千年、とても一本の木とは思えぬ巨大さ!世界一のイチヨウではないかとも言われる。平成16年(2004年)、国の天然記念物に!幹から垂れた乳と呼ばれる気根が地面にまで多数垂れ下がっていることから、古くから垂乳根(たらいね)のイチヨウとして崇拜信仰されてきた。

雄大な自然が誇る
豊かな食材!



白神山地や日本海に面して食材が豊富。山では春から秋にかけて山菜、冬は厳冬の土の下で完熟させてから収穫する「ふかうら雪人参」が抜群の美味さ。マグロの漁獲数量は県内一で、青森県初の新OMOTENASHIご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」も大好評。

ピカイチデータ☆市町村！

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

西目屋村

白神山地随一の
景勝「暗門の滝」！



暗門の滝は、下流から第3の滝(26m)、第2の滝(37m)、第1の滝(42m)と3つの滝で構成されている。世界自然遺産白神山地随一の景勝地とされ、白神山地の中で入山者が一番多い。

樹齢400年以上！
マザーツリー



津軽峠の自然観察道近くにあるブナの巨木「マザーツリー」は、推定樹齢400年、幹周り465cm、樹高30m！強い生命力と包容力を感じさせる、白神山地の神秘的なシンボリック的存在。

藤崎町

大賞&
農林水産大臣賞
ダブル受賞！
「こめたま」



常盤村養鶏農業協同組合の「こめたま」は、休耕地で生産した飼料米で育てた鶏の卵。味も栄養価も満点！食料自給率アップに貢献したとして、FOOD ACTION NIPPONアワード2009で、大賞と農林水産大臣賞をダブル受賞！

りんごの王様
「ふじ」
発祥の地！



りんご生産量世界一の品種「ふじ」の発祥地！旧農林省園芸試験場東北支場が23年間の歳月をかけ育成し、昭和37年(1962年)に命名・登録された。支場跡地の一角に校舎がある県立弘前実業高校藤崎校舎の「りんご科」は日本で唯一の学科！

大鰐町

日本初！
温泉熱による
味噌・醤油醸造



温泉で有名な大鰐町。明治43年(1910年)に日本で初めて温泉熱を利用した味噌と醤油の醸造に成功した津軽味噌醤油(株)は、以来、日本唯一の温泉熱醸造！また、大鰐もやし組合の「大鰐温泉もやし」は300年以上の歴史を誇る自慢の味！

「全日本
スキー連盟」
発祥の地！



我が国スキー黎明期の大正14年(1925年)、大鰐町で開かれた第3回全日本スキー選手権大会で団結の機運が盛り上がり、開会式後に全日本スキー連盟が発足！このわずか3年後、日本は冬季オリンピックに初参加！

田舎館村

「田んぼ
アート」
発祥の地！



1万5千㎡の田んぼに古代米などの稲を植え模様を描く。平成26年(2014年)は7色10種類の稲を使い、第一会場では「富士山と羽衣伝説」、第二会場では「サザエさん」を描いた。海外を含め多くの方から注目の田んぼアート。「富士山と羽衣伝説」は天皇皇后両陛下も御覧になられました。ぜひ一度御覧あれ。

東北地方で
初めて発見！
「史跡垂柳遺跡」



東北地方で初めて弥生時代の水田跡が発見された遺跡として有名。遺跡内には弥生時代の小さな水田を復元。また、近くの埋蔵文化財センターには弥生時代そのままの水田を展示公開し、歩行可能である。弥生人の足跡は必見！

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

板柳町

世界で一番
りんごを
楽しめる町!



「ふるさとセンター」には250種の世界のりんご見本園、スイス産のりんごの化石などがあり、また、樹も葉も実もまるごと活用したオリジナルアイデア製品が多数展示・実演販売されている。また、町ではりんごをふんだんに使ったスイーツ「タルトタタン」コンテストや「りんご皮むき大会」「赤肉りんごの展示」などのイベントを開催し、りんごの新しい魅力を様々な面から追求している。

ひときわ高い!
高架配水塔



高さ57.16mの高架配水塔は、自然流下方式で全町への給水を実現。さらに、役場と全公共施設をつなく無線LANコンピュータネットワークの中継アンテナも設置され、電話料金がかからない高速通信の実現に貢献!

鶴田町

日本一長い
木の三連太鼓橋
「鶴の舞橋」



「鶴の舞橋」は全長300m・幅3mで、県産ヒバ材の丸太3千本と板材3千枚を使用! 橋がかかる津軽富士見湖は日本有数の大きな農業用人工湖! ここ富士見湖パークには、日本初の360度ループの滑り台もある!

朝ご飯を食べて
目指せ
長生き日本一!



毎日の元気の源は朝ごはんから! 平成16年(2004年)、全国初の「朝ごはん条例」施行! 他の自治体へも波及し、平成18年には文部科学省の「早寝早起き朝ごはん運動」につながった! 日本一「長い木」の橋「鶴の舞橋」を渡って、「長生き」日本一!?

中泊町

「日本唯一の
ストーブ列車」の
終着駅!



津軽中里駅が終着駅の津軽鉄道は、冬期間、私鉄では日本で唯一車内でダルマストーブ(石炭)を焚く「ストーブ列車」を運行! 夏は風鈴列車、秋は鈴虫列車を運行し、さらには「真夏のストーブ列車」まで! 津軽の風物詩となっており、モデルにしたコミックも発刊。毎月第一土曜日、金多豆蔵(きんたまめじょ)人形劇を公演している。

日本二大名岬!
小泊岬(権現崎)



小泊の「権現崎」は、海拔229m、断崖絶壁の奇勝が見るものを圧倒する日本二大名岬の一つ。約2200年前、秦の始皇帝の命を受け不老不死の仙薬を求めて船出した人物「徐福」がたどり着いたという伝説がある!

野辺地町

日本のスキー
発祥の地!




明治37年(1904年)、豪商・野村治三郎が外国雑誌でスキーを知り、日本で最初に、運動具店にスキー2台を試作させて滑ったスキー発祥の地。「スキー発祥の地碑」が国設野辺地まかど温泉スキー場「あったかハウス」前にある。



日本最古の
鉄道防雪林!

野辺地駅ホーム西側に2kmにわたり続く約700本の杉林は、明治26年(1893年)、豪雪地の線路を守るために植林された日本初の防雪林! 全線開通した東北本線が雪で苦しむ中、日本初の林学博士・本多静六(埼玉県出身)の進言で誕生! 昭和35年(1960年)、鉄道記念物に指定!

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

七戸町	日本最古の 羽子板! 	応永3年(1396年)、南部政光によって創建されたといわれる見町観音堂の室内には、絵馬185点のほか日本最古と考えられる10点を含めた羽子板14点が納められている。平成2年(1990年)に国の重要有形民俗文化財に指定され、一部は鷹山宇一記念美術館で保管・公開されている。
	日本最大級! ヒナコウモリ 繁殖地 	天間館神社境内のコウモリ小屋は、春～秋の繁殖期、約3千頭ものコウモリが住みつき、希少種「ヒナコウモリ」の日本最大級の繁殖地! 平成19年(2007年)には「全国ヒナコウモリサミット」が開催された。
六戸町	日本初! 「インカトマト」 生産 	トマトの原産地インカ文明が栄えた南米アンデス高原に原生する野生種「インカトマト」。小指の先ほどの大きさで、自然な甘味。アンデスとほぼ同緯度の六戸町で約150種ものハーブを生産する「大西ハーブ農園」が、日本初の食材として生産を始めた!
	県内一早い! 十和田国際 カントリークラブ 	昭和39年(1964年)、青森県で最初に開設されたゴルフ場! 太平洋型の気候で雪が少ないので、オープンが県内一早い! 大自然の中の広大な魅力あるコース、県内外から年間およそ2万5千人の利用客で賑わっている。
横浜町	菜の花への こだわり 日本一! 	菜の花(ナタネ)の作付面積約128ha(H26)は、日本最大級! 菜の花マラソンや菜の花迷路「菜の花フェスティバル in よこはま」を平成3年(1991年)から毎年5月に開催。非焙煎にこだわり一搾りだけで作った「御なたね油」は農林水産大臣賞を受賞するなど、日本一の取り組み!
	 北限の ホタル!	青森県はゲンジボタルの北限で、県の天然記念物! 毎年7月「ホタル&湧き水まつり」の開催やホタルがすみやすい環境づくり活動が続ける「よこはまホタル村」が、平成19年(2007年)に第3回水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者優秀賞を受賞!
東北町	日本唯一! 地籍を持つ湖 「小川原湖」 	小川原湖は全国で唯一地籍を持つ珍しい湖。「小川原湖191番地」という地番を持っている! 面積は62.16km ² 、青森県で一番大きい。漁業経営体数は琵琶湖、霞ヶ浦、宍道湖に次いで全国第4位。
	日本一の ながいも!? 	ながいもの収穫量日本一の青森県。中でも東北町が県内一を誇っている。ながいもは春と秋に収穫され、年中全国に向けて出荷されている。町内では品評会も行われ、そこで一位に輝いたながいもは勝手に日本一と称されている。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

六ヶ所村

ながいもしょうちゅう
本根長芋焼酎
「六趣」!



使用している地元六ヶ所産の長芋は、タンパク質やミネラルが豊富。平成18年(2006年)には村内に「六趣醸造工房」が完成し、折れた規格外の長芋を有効活用している! レギュラーとスペシャルの2種類の焼酎を製造。

世界初!
大容量蓄電池を
併設した
風力発電所



六ヶ所村二又電力発電所は、世界初の大容量蓄電池併設型の風力発電所。蓄電池により安定した電力の供給が可能となった。ここで発電された電力の一部は、平成22年(2010年)4月から東京の新丸ビルに送られ、国内初の「生グリーン電力」として利用されている!

おいらせ町



日本一の
自由の
女神像!

いちょう公園にある「自由の女神像」は高さ20.8mで日本一! おいらせ町とアメリカのニューヨーク市が北緯40度40分の同緯度で結ばれていることから、「4」にこだわり本物の1/4サイズ!

さけ
鮭のつかみどり
日本一!



町最大のイベント「鮭まつり」の目玉は、奥入瀬川の河川敷で行われる「鮭のつかみどり」! 平成7年(1995年)「第10回しもだ鮭まつり」での鮭の消費量2,500尾は、ギネスブックの参考記録として日本一に認定された。

大間町

本州最北端!
「大間崎」



本州最北端の岬「大間崎」(北緯41度32分)は、北海道の汐首岬との距離わずか17.5km! 「ここ本州最北端の地」の標識は、この地が本州始まりの地であることも意味している。

最高級ブランド!
「大間まぐろ」

一本釣りで有名な「大間マグロ」は、マグロの中で最も大型の「クロマグロ」(別名ホンマグロ)。身が引き締まり脂が乗った日本一のマグロと評判。平成25年の築地市場の初競りでは、1億5,540万円の史上最高値がついた! 「黒いダイヤモンド」とも言われる。

東通村

高さ日本一
レンガ造り灯台!
「尻屋崎灯台」



高さ32.82m、レンガ造り灯台で日本一の高さ! 全ての灯台でも全国第6位! 明治9年(1876年)に東北初の灯台として石油式で点灯、明治34年(1901年)には日本初の自家発電による電気式灯台となった。光度は53万カンデラ。

県天然記念物
「寒立馬」



尻屋地区で放牧されている「寒立馬」。南部馬を先祖に持ち、小柄だけれど寒さと粗食に強く、持久力に富む。尻屋崎の雪原で、寒風の中をじっと耐えて立つ姿は人々の胸を打ち、名前の由来となった。

ピカイチデータ☆市町村！

ふるさとの

ナンバーワン、オンリーワン

風間浦村

日本唯一！
イカの競泳
「烏賊様レース」



東京・銀座で開催され大反響を呼び全国的に有名になった「元祖烏賊様(いかさま)レース」。常設レース場(一周20m、6コース)が、村の「活イカ備蓄センター」にあり、7~10月のレース開催期間中、誰でも参加できる！

ふのり
布海苔
石投石事業
発祥の地！



投石(海浜に自然石を人工的に設置)による布海苔養殖法は、明治初年、下風呂地区の先人・佐賀平之丞が考案したもの！投石による布海苔養殖法は、その後、村内はもちろん、県内及び全国で採用されるようになった！

佐井村

奇岩怪石の
絶景
「仏ヶ浦」！



他に類を見ない奇岩怪岩が約2kmにわたって続く「仏ヶ浦」の絶景！如来の首・五百羅漢・一ツ仏・親子岩・十三仏・観音岩・天竜岩・蓮華岩・地藏堂・極楽浜などの名称があり、冬の厳しい姿、夏の穏やかな姿の両方を見られる。

世界に
唯一残る！
手製の赤十字旗



日露戦争時、村出身の医師・三上剛太郎は、三角巾と赤毛布で作った赤十字旗を仮包帯所に掲げ、敵・味方なく治療にあたった。後にこの「手製の赤十字旗」はスイスなどで紹介され「世界の宝」と称された！現在は日本赤十字社青森県支部で展示している。

三戸町

世界最大級の
エクストラードーズド橋！
「三戸望郷大橋」



馬淵川にかかる「三戸望郷大橋」は、橋長400m(中央の塔と塔の間隔は200m)！PCエクストラードーズド工法で造られた橋(つり橋と桁橋を組み合わせた新しい構造形式のコンクリート橋)として、その長さは世界トップクラス！

全国初！ガマズミ
100%果汁飲料
「ジョミ」



ガマズミはスイカズラ科の野生植物で、体に良い果実と珍重され、地元では「ジョミ」と呼ぶ。三戸町ジョミ生産組合は、産学官で開発したガマズミ100%機能性飲料「ジョミ」を全国で初めて商品化。平成15年度(2003年)全国地場産業優秀製品表彰優秀賞受賞！

五戸町

日本最古の
カシワの木！



「わむらのカシワの木」(県天然記念物)は、推定樹齢650~750年、樹高22mの大木で日本最古といわれる。江戸時代末期の格式高い武家屋敷の様式を備えた貴重な建造物「旧園子家住宅」(県重宝)敷地内に立つ。

守り伝える
「江渡家住宅」！



江渡家住宅は天明年間(1781~1788年)に建築された住宅で、大規模な寄せ棟造りのかやぶき屋根が特徴。220年以上経った現在も、在郷武士住宅の完成された姿を良く伝えており、国重要文化財に指定。

ピカイチデータ☆市町村！

ふるさとの

ナンバーワン、オンリーワン

田子町

日本唯一！
にんにくづくしの
「ガーリックセンター」



「ガーリックセンター」では特産品であるニンニクやニンニクラーメンなどの加工品、海外からの直輸入ニンニク製品などを販売、展示しており、まさにニンニクづくし。にんにくラーメン、にんにくアイスも味わえる！

湧き水100%の
上水道！



町の上水道は、豊富な湧き水100%！中でも「大黒森」（標高719.3m）は田地地域の77%の水を供給。平成7年（1995年）には林野庁「水源の森百選」に選ばれた。平成4年（1992年）には、ここから見上げる星空が旧環境庁の星空日本一に輝いた！

南部町

にんにく「ふくち
ホワイト六片種」
発祥の地！



青森県は日本一のにんにく生産地。色が白く、六片の大玉で、甘味がある「ふくちホワイト六片種」という県独自の品種は、旧福地村苔米地地区で古くから栽培されていた「苔米地にんにく」を改良したもの！

高さ日本一！
「法光寺」の
三重の塔



「法光寺」の三重の塔「承陽塔」は、高さ33mで日本一大きい！同じく高さ33m、「名川チェリリン村」にあるアスレチックタワー「龍神タワー」も日本一の高さ！

階上町

古木・巨木の王国
「はしかみの里山」



町内には県や町指定の古木のほか、国内最大級の樹木が多く点在している。巨木を見学するコースもあり、階上売り込み隊のガイドで巨木めぐりを楽しむことができる。

県内で一番早く
朝日が
昇る場所！



階上灯台のある「小舟渡（こみなと）海岸」は、県内最東南端の地（東経141度41分）で、県内で一番早く朝日が昇る！水平線から昇る朝日はまさに絶景！7月下旬は「いちご煮祭り」会場として賑う。

新郷村

キリスト伝説の
里にある
「キリストの墓」！



ヘブライ語に似た意味不明の盆踊り歌が伝わり、「ダビデの星」を家紋とする家も。キリストの墓と言われる「十来塚（とうらいづか）」、弟イスキリの墓と言われる「十代墓（じゅうだいぼ）」がある。

エジプトよりも古い？
「大石神ピラミッド」



一説では、日本に7基存在するピラミッドの一つであるとされる大石神ピラミッド。付近では見られないような石質巨石が散在。古人が太陽に祈り捧げるための祭壇を構成していたといわれ、表面に文字が刻まれていたもの、方位を正確に示すものなどが見られる。

協力：各市町村

★青森県の基本データ

人口	1,373,339人	(H22国勢調査)
県総面積	9,644.74km ²	(H25.10.1現在)
市町村数	40	(10市22町8村)
県の花	「りんごの花」	(1971年制定)
県の鳥	「ハクチョウ」	(1964年制定)
県の木	「ヒバ」	(1966年制定)
県の魚	「ひらめ」	(1987年制定)

★近年の主な映画ロケ地

- 「ウルトラ・ミラクル・ラブストーリー」(青森市ほか)
- 「素敵な夜、ボクにください」(青森市)
- 「三本木農業高校、馬術部」(十和田市)
- 「借り暮らしのアリエッティ」(平川市盛美園〈風景〉)
- 「わさお」(鯉ヶ沢町)
- 「アオグラ」(七戸町)
- 「青いうた」(むつ市)
- 「五重塔」(五所川原市)
- 「津軽百年食堂」(弘前市)
- 「明日に架ける愛」(つがる市・弘前市)
- 「奇跡のリンゴ」(弘前市)
- 「ライアの折り」(八戸市ほか)

★2014年のピカイチな活躍

- サッカー日本代表の柴崎岳さん(野辺地町出身)が、ベネズエラとの国際親善試合「キリン・チャレンジカップ」で代表デビューを飾るとともに初得点！2014年年間表彰式「Jリーグアウォーズ」において、初のベストイレブンに選ばれる。
- 小原由梨愛さん(十和田市出身)が、サッカー女子W杯予選を兼ねた女子アジアカップのヨルダン戦で代表デビューし、W杯出場権獲得の原動力となった。

★青森県の主な郷土料理・家庭料理

◆全県

貝焼き味噌

だし汁を入れたほたて貝火にかけ、みそと卵を溶いてつくる。



じゃっば汁

たらを「じゃっば(あら)」ごと使い、大根やにんじんと煮た鍋物。



◆津軽地方

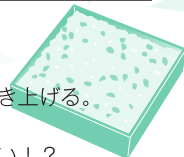
けの汁

大根やにんじん、山菜を細かくきざみ、みそで煮込んだ汁もの。



甘〜い赤飯

赤飯に砂糖を入れ甘く炊き上げる。甘納豆を入れる地域も。甘くなければ赤飯じゃない!?



赤〜い!いなりずし

中の酢飯にきざんだ紅しょうがを入れるので赤い。



◆南部地方

いちご煮

うにとあわびの、贅沢な潮汁。「朝霧の中の野いちご」に見える。



ひつつみ

小麦粉の生地を引っ張ってちぎったものを入れる具だくさんの汁。つるつとした喉越しと歯ごたえが楽しめる。



豆しとぎ

ゆでてすりつぶした大豆を米粉・砂糖等とまぜ、こねたおやつ。焼いて食べると香ばしい。



◆下北地方

けいらん

あんこ入りの団子にしょうゆだしをかけた汁もの。



べごもち

黒砂糖と白砂糖で作るまだら模様からべご(牛)餅と呼ばれる。現在はカラフルで芸術的な模様のももの。



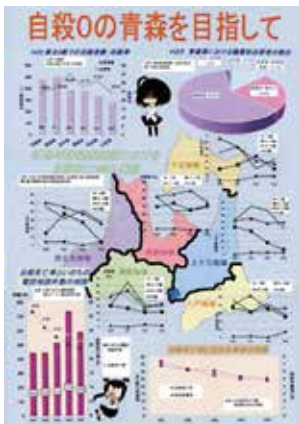
イカ寿司

イカの胴体の中にゲソや生姜、キャベツ、にんじん等の野菜を詰めて酢漬けたもの。



平成26年度 青森県統計グラフコンクール

知事賞



青森大学 2年 武田 誉也さん
東奥学園高等学校 3年 木村 みのりさん
(第62回統計グラフ全国コンクール 佳作)

知事賞



弘前大学教育学部附属中学校 2年 市村 悠華さん

統計は 次代を読み解く パートナー

(平成26年度「統計の日」ポスター標語)

★10月18日は「統計の日」です★

百聞より 一見で知る 統計データ

佐井村立佐井中学校2年 宮川 恵梨加さん

(平成26年度「統計の日」標語 佳作)

年 組	
名 前	

2015年2月 発行

青森県企画政策部統計分析課

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 TEL017-734-9164 FAX017-734-8038

e-mail tokei@pref.aomori.lg.jp

この印刷物は26,000部作成し、印刷経費は1部あたり47.3円です。